



記者会見するAMDAの近藤事務局長（中央）＝岡山市榎津、AMDA本部

大洪水被害の 北朝鮮救援を

AMDA呼び掛け

大洪水に見舞われた朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）への緊急救援プロジェクトを行うアジア医師連絡協議会（AMDA、本部・岡山市榎津）は十二日、記者会見し、現地の被害状況を報告。食料品、衣類などの救援物資の提供を呼び掛けた。

近藤祐次事務局長は、現地の被害状況について「七、八月の洪水で西部を中心に約五百二十万人が被災。全体の被害総額は約一兆五千億円に上るとみられ、特に農業分野に壊滅的な被害が出たようだ」と話し、コメ、缶詰など食料品や衣類、

医薬品などの緊急援助の必要を訴えた。

AMDAは十三日にも医薬品や食料を積んだ緊急救援物資の第一陣を船で現地へ送るほか、関係機関との交渉がまとまり次第、早急に第二陣を派遣する方針。

近藤事務局長は「阪神大震災の際、北朝鮮政府からも義援金が寄せられた。その好意にこたえるためにもできる限りの援助をしたい」と話している。

AMDAでは救援物資のほか、郵便口座0125012140709（通信欄に「朝鮮洪水」と記入）で募金も受け付けている。問い合わせは同事務局（086-284-1773）。